






氏名	山本 貴之	学校名	茨城県 取手市立寺原小学校
担当教科等	全教科	対象学年（人数）	第6学年（72名）
実践年月日もしくは期間（時数）		2019年9月～11月（10時間）	


【実践概要】

1. 実践する教科・領域：総合		
2. 単元(活動)名：広げよう 日本の心・世界の心		
3. 授業テーマ(タイトル)と単元目標 授業テーマ：ネパールから広がる世界 ～SDGsで世界とつながろう～ 単元目標： <ul style="list-style-type: none"> ・ ネパールについて学び、異文化を尊重し、異なる文化を持つ人々と共生する資質を養う。 ・ 国際社会の課題やSDGs、国際協力に携わる人々について知り、国際社会に貢献しようとする態度を養う。 関連する学習指導要領上の目標： 「探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」 (『小学校学習指導要領』第5章 総合的な学習の時間 第1目標)		
4. 単元の 評価規準	①知識及び技能	世界には多様な文化があることを認め、良さや課題を見出すことができる。
	②思考力、判断力、表現力等	ネパールや国際社会の課題、SDGsの取り組みから、課題解決の必要性や国際協力の意義を考えることができる。
	③学びに向かう力、人間性等	異文化や国際貢献について関心をもち、自己の生活や考え方を見つめ直している。
5. 単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)	<p>【単元設定の理由】 多様な文化を尊重する態度、また、持続可能な社会の実現に寄与する態度の育成を目指して本単元を設定した。ネパールを切り口にして異文化と出会い、様々な差異や共通点、疑問を見出すことができる。ネパールの人々の姿や生活の様子は課題を含みながらも豊かなものに映り、互いの文化を尊重することの大切さに気付かせられると考える。そこから国際社会が抱える課題に目を向け、持続可能な社会の実現について考えていく。様々な課題に対して、自分も無関係ではないという意識を高め、自らの行動や生活を見つめ直す機会としたい。</p> <p>【単元の意義】 本単元を通して、外国について学ぶ機会が少なかった児童の視野は大きく広がると考えられる。特に、児童同士のうちわや手紙のやりとりが行えることは、外国に住む人々を身近に感じられる体験となる。海外のことを遠い世界の出来事としてではなく、共に生きる人々の出来事としてとらえられることを期待している。また、SDGsを知ることで、国際社会を見つめる視点を得られると考えられる。視点が定まることで、国際社会の様々な課題を分析できるようになるだろう。自分の生活と結び付く課題を見出させ、持続可能な社会実現への意欲につなげていきたい。</p> <p>【児童／生徒観】 本学年の児童は、外国の人と接したり、異文化に触れたりした経験が少なく、外国を身近なものとはとらえていない。その分、担任のネパールへの派遣や現地との交流は、児童にとってとても新鮮な機会であり、高い関心を示している。日頃の学習の様子からは、興味関心の幅の広さをうかがうことができる。学校で学んだことを家庭でさらに調べたり、家族に伝えたりして、進んで学びを深めている児童も多い。本実践でも、授業をきっかけとして、学びが広がっていくことを期待している。</p> <p>【指導観】 児童がネパールの人々と文化を尊重することができるように、導入ではネパールと肯定的に出会う場を設定する。ネパールの街並みや生活様式は大きな衝撃を与えるものであるが、その意味や理由、日本との共通点を理解していくことで、互いの良さに気付かせたい。単元の中盤では、ネパールや国際社会が抱える課題に目を向</p>	

けていく。SDGsという視点を与えることで、児童にとって難しい課題でも、多面的に考察できるようにする。また、JICAネパール事務所職員や青年海外協力隊員に対するインタビュー動画からは、国際協力に携わる人の生の声を聞くことができる。国際協力に携わる人々の姿から、自分の生活や考え方を見つめ直す場を設定したい。本単元を通して、児童の視野や価値観が広がるように授業を展開していく。

6. 単元計画（全 10 時間）				
時	小単元名	学習のねらい	学習活動	資料など
1	「ネパールに届けよう」 （事前）	ネパールへの関心と交流授業への意欲を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ネパールの位置や国旗などについて知る。 ・ネパールに届けるうちわを作る。  <p>【うちわ作り】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・地図 ・国旗 ・うちわ
2	「ネパールってどんな国？」	異文化に出会い、ネパールの人々や文化を肯定的にとらえる。	<ul style="list-style-type: none"> ・写真カルタやクイズで、ネパールの文化や生活について知る。 ・心に残った写真から、感じたことや考えたことをまとめる。  <p>【写真カルタ】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・写真カルタ ・クイズ
3	「学校をのぞいてみよう」	日本とネパールの学校を比較し、差異や共通点に気付く。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に関するクイズで、学校の仕組みを知る。 ・写真を見て、日本の学校との差異や共通点を考える。  <p>【学校の様子】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・学校の写真
4	「世界に目を向けよう」	世界には様々な人々があり、様々な違いがあることに気付く。	<ul style="list-style-type: none"> ・100人村のワークショップで、世界の現状を知る。 ・新・貿易ゲームで、世界の国々の格差に気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ版 世界がもし100人の村だったら（開発教育協会 DEAR） ・新・貿易ゲーム（開発教育協会 DEAR）

5	「世界は今…」	国際社会の様々な課題に気付く。	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会の課題を知り、自分の考えをもつ。  <p>【負の連鎖カード】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・JICA、ユニセフの動画 ・負の連鎖カード
6	「SDGsって何だろう？」	SDGsを知り、持続可能な社会実現への関心を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsについて知る。  <p>【SDGsを知る】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・SDGs ロゴ ・SDGs 関連の動画
7	「国際協力のプロフェッショナル」	国際協力に携わる日本人の思いや努力を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・JICA 職員や青年海外協力隊員のインタビューを聞き、心に残った言葉を伝え合う。  <p>【JICA インタビュー動画】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・JICA イメージムービー ・インタビュー動画
8	「ネパールの友達に手紙を書こう」	ネパールと交流し、異文化を尊重する態度を育む。	<ul style="list-style-type: none"> ・ネパールの子供たちに手紙を書く。  <p>【手紙作成】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・便箋 ・ネパール語会話帳 ・英語の教科書
9 本時	「SDGs でくらしを見つめよう」	世界の子供のくらしを SDGs と関連付けて考え、自分の生活を見つめ直す。	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の子供たちのストーリーを読み、関連する SDGs を考える。 ・自分の生活を振り返り、SDGs 達成のための工夫を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・ストーリー ・グループシート

				
			【関連する SDGs 探し】	
10	「SDGs で世界とつながろう」	SDGs について調べ行動計画を立てる。	・SDGs に関する取り組みを調べ、行動計画を立てる。	・ワークシート

7. 本時の展開（9時間目）			
本時のねらい：世界の子供たちの暮らしを SDGs と関連付けて考え、自分の生活を見つめ直す。			
過程・時間	教員の働きかけ・発問および学習活動・指導形態	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 (10分)	1. 昨日の生活を振り返る。 2. 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">世界の子供たちの暮らしから、どんな SDGs が見えるだろう。</div>	・ 児童同士で伝え合うことで、学習への意欲を高める。	
展開 (30分)	3. 世界の子供たちのストーリーに関連する SDGs を考える。 【日本】【ネパール】 【モンゴル】【バングラデシュ】 【イエメン】【ウガンダ】 (1) 個人で考える。 (2) グループで伝え合う。 (3) 他のグループから学ぶ。 4. 自分の生活から、SDGs 達成につながる工夫を考える。 (1) 個人・グループで考える。 (2) 友達から学ぶ	・ 良さや課題、SDGs を探しながら読むように助言する。 ・ 多面的に考えるよう伝え、多様な考えが生まれるようにする。 ・ シートにメモをさせ、自分の考えをもてるようにする。 ・ 関連する SDGs とその理由をシートに書かせ、可視化する。 ・ 他のシートを見て回り、違う事例から学ぶように助言する。 ・ 昨日の生活から SDGs を探すよう伝える。 ・ ひとり一人の工夫をシートに書き込ませ、可視化する。 ・ シートを回し、感心した意見には印を付けるよう伝える。	・ 世界の子供たちのストーリーシート (セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン) ・ ワークシート① (JICA) 【資料1】
まとめ (5分)	5 学習を振り返る。	・ 振り返りを書かせ、数名の記述を全体で共有する。	・ ワークシート② 【資料2】 ・ SDGs アイコン
8. 評価規準に基づく本時の評価方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・ ストーリーから、関連する SDGs を多面的に考えている。[思考力・判断力・表現力等] (ワークシート①、話し合い) ・ 自分の生活を振り返り、SDGs 達成につながる工夫を考えている。[学びに向かう力、人間性等] (ワークシート②、振り返り) 			

9. 学習方法及び外部との連携

サンジワニ・モデル高等学校 鈴木このみ隊員

青年海外協力隊である鈴木隊員の協力を得て、児童同士が手紙交換をすることができた。初めはテレビ電話での交流を予定していたが、通信環境が不安定であったため、手紙でやり取りをすることとなった。外国語の授業で習った表現を用いて、英語で手紙を書いた。ネパールの子供たちが自分の手紙を読み、返事を書いてくれるということが意欲につながり、英語に苦手意識をもつ児童も最後まで書くことができた。ネパール語を調べて、熱心に書き写している児童もいた。交流を通して、ネパールをさらに身近に感じる事ができた。

10. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組

・国際理解コーナーの設置

教室前の廊下に、ネパールの写真やクイズ、書籍、トピ（帽子）、交流授業で作成したうちわなどを展示した。他学年の児童も、ネパールの文化にふれられる場とすることができた。



【国際理解コーナー】

・ワールドキャラバンの実施

茨城県国際交流協会のワールドキャラバンを実施し、ラオスの方に講演をしていただいた。ラオスの様々な文化を、日本やネパールと比較しながら聞き、児童の視野がさらに広がった。

・ホームページでの情報発信

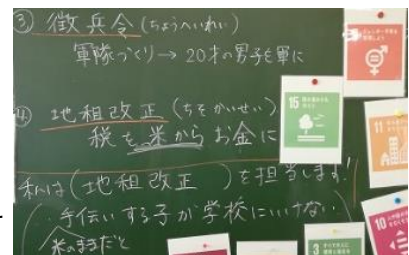
授業の様子を学校ホームページのブログで発信し、保護者や地域の人たちにも取り組みを伝えることができた



【学校ホームページ】

【自己評価】

11. 苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> 児童が異文化と肯定的に出会う場を、どのように設定するか悩んだ。 各教科の授業や学校行事等との兼ね合いの中で、計画に沿って授業を展開するのに苦勞した。
12. 改善点	<ul style="list-style-type: none"> 様々な教材や活動を盛り込みすぎてしまった。 障がい者支援団体やフェアトレードの工芸品店等の視察の成果を、SDGsと関連させて示せばよかった。 児童自身が学習した成果を、他学年や保護者に発信する場を設定したかった。
13. 成果が出た点	<ul style="list-style-type: none"> 外国や異文化について知ることを、面白いと感じられる児童が増えた。 地域に住む外国の人たちに対して、より好意的に向き合えるようになった。 外国や国際社会についての関心が高まり、テレビや新聞から情報を得て、児童同士で話題にあげる姿が増えた。 他教科の学習でも SDGs と関連させて考える姿が見られた。



【社会の授業の板書】

<p>15. 授業者による自由記述</p>	<p>ネパールでは様々なプログラムを通して、貴重な知見を得ることができた。また、事前・事後研修では、国際理解教育のアクティビティや授業作りの視点についても詳しく学ぶことができた。授業実践では、子供たちと共に、ネパールや世界と精一杯向き合うことができた。異文化や持続可能な世界について、小学生ながらに一生懸命に思考を巡らせる姿には感心した。しかし、研修の成果を十分生かしきれなかった部分もある。今後も本研修に携わる方々と連携し、国際理解教育について勉強していきたい。</p>
-----------------------	--

参考資料：

- ・『ワークショップ版 世界がもし100人村だったら』特定非営利活動法人 開発教育協会 (DEAR)
- ・『新・貿易ゲーム 経済のグローバル化を考える』特定非営利活動法人 開発教育協会 (DEAR)、公益財団法人 かながわ国際交流財団
- ・『共につくる私たちの未来 SDGs から「持続可能な社会の創り手」への一步を』JICA 地球ひろば
- ・『先生・ファシリテーターのための持続可能な開発 -SDGs- アクティビティ集』公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
- ・JICA 地球ひろば <https://www.jica.go.jp/hiroba/>
- ・日本ユニセフ協会 <https://www.unicef.or.jp/>

添付資料：

【資料1】ワークシート①

切って使えるSDGsアイテム

SDGsカード

例えばこんな使い方

- 教室／学校内にあるそれぞれのゴールに関する課題や、いい取り組みを右側のスペースに書いてみよう！ 右下のSDGsホイールの中のどれが一番取り組みたいと思ったSDGsの番号を、右側のスペースにはそのために自分ができること、やろうと思うことを書いてみよう！
- 住んでいる地域の、それぞれのゴールに関する課題や取り組みを調べて、右側のスペースに書いてみよう！ 右下のSDGsホイールの中には、地域で一番優先して取り組みたいと思うゴールの番号を、右のスペースにはその理由と、そのために自分や学校、地域の人がやるべきアクションを書いてみよう！

46

【資料2】ワークシート②

SDGsでくらしを見つめよう！

氏名 _____

昨日の自分をちょっと変えて SDGsにつなげよう！

考えたこと・想像したこと・自分の考えの変化
自分とつながること・もっと知りたいこと など